

一緒に考えましょう講座 第一回

原発ってなんだろう？

安心の基準はどこに？ 安全はどうやって確かめられるの？

3・11以降、命を真剣に考え始めました

－ 現場の専門家たちの知識に学びたい －

－ ひとりで考えるだけでなく、一緒に考えたい －

そこから講演会を始めてみようと思います。ご参加をお待ちします

日時、場所：

1回目 2011年10月28日（金）18時30分

新札幌サンピアザ劇場ホール

2回目 2011年10月29日（土）14時00分

北海道大学スラブ研究センター4階大会議室

川野眞治さん（元京都大学原子炉実験所助教授）
物理学で日本が誇る世界的権威。京都大学原子炉実験所で原子力安全研究グループを結成する。小出裕章、今中哲二氏の先輩。チェルノブイリ、美浜、もんじゅ等の原発事故を調査し、大学と市民を結ぶ活動をリードしてきた。

講師

藤原節男さん（元原子力安全機構泊原発検査員）
大阪大学工学部原子力工学科卒業。三菱原子力工業を経て2005年に原子力安全基盤機構に入り、検査業務部検査員となる。泊原発などでの検査結果改ざんについて、内部告発をおこなう。2010年4月失職、再雇用を求めて裁判所にて係争中。

連絡先： 北海道大学スラブ研究センター家田研究室

お問い合わせは ファックス：011-706-4952 または メール：veritas-sanitas@hotmail.co.jp で

共催： 北海道の自然と命のネットワーク

参加は無料ですが、サンピアザ劇場では資料代500円をお願いします
事前申し込みは要りません。ご自由にご参加ください
サンピアザ劇場へはお子様もご一緒にどうぞ





講演会の趣旨

放射能汚染や原発を一人一人が自分自身の命の問題として考え始めています。私たちの北海道にも泊原発があります。泊に事故が起きれば、放射能は偏西風に乗って北海道全域を汚染します。活断層も泊の近くにあります。

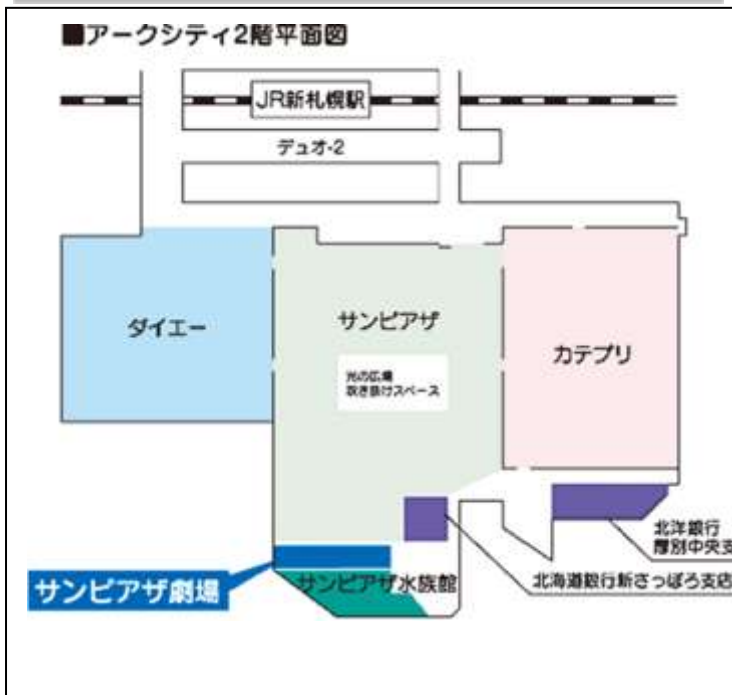
この講演会では、大学研究者として、「フクシマ」が起きるずっと以前から原発の危険性を訴え、市民とともに原発を検証してきた川野真治さん、そして原発検査員として泊3号機の不具合に黙っていられず声をあげられた藤原節男さんのお二人をお招きします。

マスコミ報道ではよく分からない原発現場の声や、原子力技術の実態を知り、ともに原発と放射能の問題を考えてゆきたいと思います。

放射能の影響などに関して、最も信頼できる最新の資料も入手できます。是非ともご参加ください。

家田修

1日目 新札幌サンピアザ劇場ホール



2日目 北海道大学スラブ研究センター 4階大会議室

